

第 3 期中期目標期間（R 1 ～R 6 年度）に係る中間業務実績報告書

新旧対照表

新	旧																									
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">P 8</div> <p>(4) 地域貢献</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 5 年 4 月に開設した「石見銀山まちを楽しくするライブラリー」を拠点に、学生、教職員が地域に出掛け地域住民と交流しながら、地域に学ぶ実践的な教育や高大連携を展開していく。 「<u>教員の地域貢献活動取組数 年間 600 件以上</u>」は、<u>コロナ禍の影響等により令和 2 年度、令和 4 年度は目標を下回った。</u> <p style="text-align: center;">(図表6) 教員の地域貢献活動取組</p> <p style="text-align: right;">(単位：件)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>キャンパス</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜田</td> <td style="text-align: center;">154</td> <td style="text-align: center;">136</td> <td style="text-align: center;">213</td> <td style="text-align: center;">232</td> </tr> <tr> <td>出雲</td> <td style="text-align: center;">252</td> <td style="text-align: center;">54</td> <td style="text-align: center;">167</td> <td style="text-align: center;">157</td> </tr> <tr> <td>松江</td> <td style="text-align: center;">224</td> <td style="text-align: center;">163</td> <td style="text-align: center;">232</td> <td style="text-align: center;">183</td> </tr> <tr> <td>全学</td> <td style="text-align: center;">630</td> <td style="text-align: center;">353</td> <td style="text-align: center;">612</td> <td style="text-align: center;">572</td> </tr> </tbody> </table>	キャンパス	R1	R2	R3	R4	浜田	154	136	213	232	出雲	252	54	167	157	松江	224	163	232	183	全学	630	353	612	572	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">P 8</div> <p>(4) 地域貢献</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 5 年 4 月に開設した「石見銀山まちを楽しくするライブラリー」を拠点に、学生、教職員が地域に出掛け地域住民と交流しながら、地域に学ぶ実践的な教育や高大連携を展開していく。 <p style="text-align: center;">(追加)</p>
キャンパス	R1	R2	R3	R4																						
浜田	154	136	213	232																						
出雲	252	54	167	157																						
松江	224	163	232	183																						
全学	630	353	612	572																						

P 9

(6) コロナ禍における教育のDX化など学習機会確保の取組

- 令和2年2月、理事長・学長の下に新型コロナウイルス感染拡大防止対策会議を設置した。令和2年4月には、対面授業が制限される状況下で、ICTを活用した授業を実施する全学方針を定め、ビデオ会議プラットフォーム (Microsoft Teams) やアプリケーションソフト (Forms、Stream など) を用いたオンライン授業の仕組みを構築し、遠隔授業をスタートさせた。
- 新学期や長期休暇明けなど、人の流れが活発になり感染が拡大する時期の授業については遠隔で実施するとともに、教室の通信機器・視聴覚機器の整備を行うことで、感染の状況に応じたハイブリッド授業 (対面・遠隔並行) で対応することにより、学生の学習機会の担保とキャンパス内での感染拡大防止が図られた。
- 遠隔授業に対応するため、資料の印刷経費等として全学生に1万円を給付するとともに、希望する学生にはポケットWifiを貸与するなどの支援を行った。
- 遠隔授業の導入を機に、講義形式から学生との対話・関わり合いを重視する授業形態への転換や教材の見直しなど教育の質を担保するための試行錯誤が行われた。
- フィールドワークなどの現地活動が制限される中、TeamsやFormsを使ったリモートインタビューやアンケート調査、オンラインでのグループワークが行われた。こうした実践的な取り組みや遠隔授業を通して、学生の情報リテラシーやICTスキルが向上した。
- 出雲キャンパスでは、学内での授業や臨床での実践力を養う臨時実習を確実に実施するため、新型コロナウイルス感染症の感染推移の過去データをもとに感染拡大時期の予測を行い、年間の授業

P 9

(追加)

計画（学年歴）の組み替えを行った。

- また、医療機関等の実習先と綿密に連携を行ったことで、看護実習や助産学実習、給食実習などの臨地実習が中止されることなく実施された。
- 実践能力や地域の特性および健康課題の探求力を養成するフィールド学習「島根の地域医療」をリモートを併用して行った。
- 松江キャンパスでは、紀要『人間と文化』第4号に「コロナ禍の大学教育－島根県立大学松江キャンパスの取組－」を記録し、コロナ禍を機に確立した新たな授業の形を、より柔軟で効果的な学びへと発展させるための課題等について考察が行われた。
- 以上のように、コロナ禍にあっても積極的に様々な取り組みが行われ、学生の学習機会が担保されたことは特筆すべき点である。

(追加)

P10

(7) その他項目

(略)

- リモート授業への対応や良好な教育研究環境を維持するため、計画的に施設・設備の整備改修を行った。
- 出雲キャンパスでは、地域における新型コロナワクチン接種の加速化を図っていくため、地域企業と連携し教職員による接種体制により職域接種を実施した。これにより、本学の学生や教職員に加え、企業の従業員などのワクチン接種を進めることができ、地域に貢献することができた。

P10

(7) その他項目

(略)

- リモート授業への対応や良好な教育研究環境を維持するため、計画的に施設・設備の整備改修を行った。

(追加)